

令和7年度 3年次生 学びのプラン

教科名	国語	単位数 (コマ数)	2単位 (2コマ)	履修年次	3年次	
科目名	文章表現	履修	選択	開講	通年	
教科書	なし	副教材	・文章トレーニングノート(第一学習社) ・三訂版 入試頻出漢字TOP2500(いいずな書店)			
1 学習の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増やし、語感を磨く。 ・様々な表現形態に触れて自らの考えを文章化するとともに、他者の考えも知り、自他の理解につなげる。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、場面に応じた適切な表現を理解し使い分ける。 						
2 学習の方法						
<p>1、授業について</p> <p>○授業は週2コマで行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめはテキストに沿って文章作成の基礎基本を身に付ける。 (話し言葉と書き言葉について理解する、原稿用紙の使い方に従って繰り返し書く練習をする等。) ・身近なテーマも含め、多様な社会的テーマについて客観的材料を基に自らの主張を文章化する。 あわせて、発表、討議などの「話す」活動も行う。 <p>2、携行する物</p> <p>『文章トレーニングノート』、ファイル(配布物や収集した資料を保管する)、タブレット。 他に『入試頻出漢字TOP2500』等、必要に応じて指示をする。</p>						
3 評価について						
①評価の観点						
知識・技能	適切な言葉で表現するための知識・技能を身に付けている。 原稿用紙等、各種書式に合わせて文章化するための知識・技能を身に付けている。					
思考・判断・表現	多種多様な情報の中から適切に資料を選択し、客観的視野を持って物事を分析・判断し、自己の主張を効果的な構成で文章化する力を身に付けている。					
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを多彩に表現することに必要な語句の量を増やすために、主体的・計画的に取り組むことができる。 ・文章表現をはじめとした言語活動を通じて人間関係を築き、心豊かな社会生活を営もうとする態度を身に付けている。 					
②評価の方法						
観点	材料	定期 考査	小テスト	課題等	グループ ワーク	評価方法
知識・技能			○	○		・毎時提出する課題(文章など)、ワークシート ・小テスト
思考・判断・表現			○	○	○	・毎時提出する課題(文章など)、ワークシート ・小テスト
主体的に学習に取り組む態度			○	○	○	・積極的に課題に取り組むとともに、自ら解決していこうとしている姿勢。 ・小テスト等に向けての主体的・計画的な準備。
4 その他						
<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査は行わず、各回の課題や小テストへの取り組みで評価する。 						

5 単元の目標・評価						
単元名	『トレーニングノート』を中心に書くための基礎的な知識・技能を身につける					
単元の目標	原稿用紙等、各種書式に合わせて文章化し、適切な言葉で表現するための知識・技能を身に付ける。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	ワークシート					
活動内容	『トレーニングノート』の項目に従って課題に取り組む。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	表現と理解に役立てるための文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。		話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けることができる。		表現に関心を持ち、文法、表記、語句、語彙、漢字等を実際に文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。	

単元名	作家に挑戦					
単元の目標	文章表現をはじめとした言語活動を通じて人間関係を築き、心豊かな社会生活を営もうとする態度を身に付ける。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	レポート作成、発表					
活動内容	文学的文章の創作。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	表現と理解に役立てるための文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。		文学的文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にすることができる。		文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしようとしている。	

6		年間計画			
学期	月	単元	項目	予定時数	考查
前期	4	○オリエンテーション ○『トレーニングノート』を中心に 書くための基礎的な知識・技能を 身につける ☆小テスト①	<ul style="list-style-type: none"> ・読み手を意識して書こう ・正しい文字、正しい表記で書こう ・原稿用紙の使い方 	6	(前期中間考查)
	5		<ul style="list-style-type: none"> ・文章は「書き言葉」で書こう ・文の乱れをなくそう ・文のつながりを確認しよう ・確認テスト1、2 	8	
	6		<ul style="list-style-type: none"> ・正しい表記で書き直してみよう①、② ・出題者はあなたの何を見たいのか ・出題の目的を考えて題材を選ぼう 	8	
	7		<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりよがりになっていないか確かめよう ・文章をチェックしてみよう①、② ・いけない答案例、書く時の注意事項 ・自分をアピールすること 	7	
	8		☆小テスト② <ul style="list-style-type: none"> ・自分をアピールしてみよう①、② 	7	
後期	9	○多様なテーマについて、自身の 考えを述べる ☆小テスト③ ○作家に挑戦	※複数回実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・『トレーニングノート』で身につけた技能を 実際に運用する。 ・内容を精査して自分なりの結論を持つ。 ・自身の主張の根拠を立てる。 ・結論に至るまでの具体例を用意する。 ・想定される反論に対して、理論的にこた える。 	8	(後期中間考查)
	10		<ul style="list-style-type: none"> ・高校の国語で学習した文章をベースに、 作品を創作する。 ・創作した作品を発表し、互いに論表する。 	9	
	11			9	
	12			8	
	1				
	2				
	3				